

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 中国財務局長

**【提出日】** 平成26年2月14日

**【四半期会計期間】** 第75期第3四半期(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

**【会社名】** 林兼産業株式会社

**【英訳名】** Hayashikane Sangyo Co.,Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 熊山 忠和

**【本店の所在の場所】** 山口県下関市大和町二丁目4番8号

**【電話番号】** 下関(083)266-0214

**【事務連絡者氏名】** 管理本部 経理部長 宮崎 一郎

**【最寄りの連絡場所】** 山口県下関市大和町二丁目4番8号

**【電話番号】** 下関(083)266-0214

**【事務連絡者氏名】** 管理本部 経理部長 宮崎 一郎

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第74期 第3四半期 連結累計期間	第75期 第3四半期 連結累計期間	第74期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	36,462,121	36,016,180	45,482,444
経常利益 (千円)	644,245	147,147	355,757
四半期(当期)純利益 (千円)	585,084	146,518	351,945
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	596,667	258,880	533,619
純資産額 (千円)	4,681,990	4,868,846	4,618,934
総資産額 (千円)	30,382,938	30,411,198	27,455,216
1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	6.57	1.65	3.95
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	13.7	14.2	14.9

回次	第74期 第3四半期 連結会計期間	第75期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	2.04	2.17

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社に異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、個人消費の持ち直しや公共投資の増加により緩やかな回復が続いたものの、本格的なデフレ状況からの脱却には至りませんでした。食品業界におきましては、円安に伴う原材料輸入価格の高止まりが企業収益を圧迫するなど、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のなか当社グループは、「2ヵ年経営計画」のもと、経営資源の選択と集中により構造改革を進め、収益基盤の改善と持続的な事業発展を目指してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、肉類の売上が増加したものの、魚肉ねり製品の販売数量減少や、平成24年6月をもって畜産用飼料の自社生産を中止した影響もあり360億16百万円（前年同期比1.2%減少）となりました。損益面におきましては、魚肉ねり製品の売上減少や食肉加工品の原材料価格の高騰などにより、営業利益2億3百万円（前年同期比70.0%減少）、経常利益1億47百万円（前年同期比77.2%減少）、四半期純利益1億46百万円（前年同期比75.0%減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメントの業績は、次のとおりです。

#### 水産食品事業

水産食品事業におきましては、市場の縮小傾向が続くなか、魚肉ねり製品の販売数量が減少したことにより、減収となりました。

これらにより、売上高は27億27百万円（前年同期比21.0%減少）、セグメント損失（営業損失）は70百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）99百万円）となりました。

### 畜産食品事業

畜産食品事業におきましては、豚肉の輸入量が減少したこともあり、国産豚肉の生産量は増加いたしました。こうしたなか、豚肉を中心とした肉類の販売に注力したことにより、増収となりました。

これらにより、売上高は146億59百万円（前年同期比5.6%増加）となったものの、食肉加工品の原材料価格の高騰や肉類の販売単価下落によりセグメント利益（営業利益）は86百万円（前年同期比74.8%減少）となりました。

### 飼料事業

飼料事業におきましては、畜産用飼料の自社生産を中止した影響や養魚用飼料の販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

これらにより、売上高は171億6百万円（前年同期比3.2%減少）、セグメント利益（営業利益）は8億59百万円（前年同期比6.4%減少）となりました。

### その他

その他の売上高は15億22百万円（前年同期比4.7%増加）、セグメント利益（営業利益）は1億39百万円（前年同期比4.8%増加）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (資産)

当第3四半期連結会計期間の資産合計は304億11百万円となり、前連結会計年度に比べ29億55百万円の増加となりました。

流動資産の増加（前連結会計年度比20億84百万円増加）は、主に受取手形及び売掛金が20億32百万円増加したことなどによるものです。

固定資産の増加（前連結会計年度比8億71百万円増加）は、主に破産更生債権等が7億49百万円増加したことなどによるものです。

### (負債及び純資産)

当第3四半期連結会計期間の負債合計は255億42百万円となり、前連結会計年度に比べ27億6百万円の増加となりました。

流動負債の増加（前連結会計年度比25億24百万円増加）は、主に買掛金が14億71百万円、短期借入金が11億17百万円増加したことなどによるものです。

固定負債の増加（前連結会計年度比1億81百万円増加）は、主にその他に含まれる長期リース債務が1億67百万円増加したことなどによるものです。

当第3四半期連結会計期間における純資産合計は48億68百万円となり、前連結会計年度に比べ2億49百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益1億46百万円を計上したことなどによるものです。この結果、自己資本比率は14.2%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた問題はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は3億82百万円です。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	89,100,000	89,100,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は1,000株です。
計	89,100,000	89,100,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日		89,100		3,415,020		

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成25年9月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 58,000 (相互保有株式) 普通株式 10,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 88,865,000	88,864	
単元未満株式	普通株式 167,000		1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	89,100,000		
総株主の議決権		88,864	

- (注) 1 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式4,000株(議決権4個)が含まれております。
- 2 「完全議決権株式(その他)」の欄には、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的には所有していない株式1,000株が含まれております。なお、当該株式については、議決権の数には含まれておりません。
- 3 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式438株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 林兼産業株式会社	山口県下関市大和町 二丁目4番8号	58,000		58,000	0.06
(相互保有株式) 株式会社みなと	山口県下関市大和町 一丁目12番6号	10,000		10,000	0.01
計		68,000		68,000	0.07

- (注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的には所有していない株式1,000株があります。なお、当該株式は [発行済株式] の「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式に含まれております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人大手門会計事務所により四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,319,260	2,324,762
受取手形及び売掛金	<sup>2</sup> 4,892,362	<sup>2</sup> 6,924,773
商品及び製品	1,774,538	2,037,858
仕掛品	1,980,148	1,835,543
原材料及び貯蔵品	1,255,004	1,437,131
その他	407,483	179,832
貸倒引当金	65,971	92,963
流動資産合計	12,562,825	14,646,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,025,322	3,903,043
土地	4,292,520	4,289,538
その他(純額)	1,833,998	1,931,831
有形固定資産合計	10,151,841	10,124,414
無形固定資産	60,599	55,167
投資その他の資産		
破産更生債権等	2,916,150	3,665,424
その他	3,148,302	3,280,972
貸倒引当金	1,384,502	1,361,719
投資その他の資産合計	4,679,950	5,584,676
固定資産合計	14,892,390	15,764,258
資産合計	27,455,216	30,411,198
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,614,288	5,085,620
短期借入金	9,728,101	10,845,142
未払法人税等	27,471	43,365
賞与引当金	232,861	116,468
その他	2,119,900	2,156,385
流動負債合計	15,722,623	18,246,981
固定負債		
長期借入金	4,519,152	4,462,786
退職給付引当金	1,677,346	1,703,151
資産除去債務	5,661	5,753
その他	911,497	1,123,678
固定負債合計	7,113,658	7,295,369
負債合計	22,836,282	25,542,351

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,415,020	3,415,020
資本剰余金	5,989	5,989
利益剰余金	346,773	493,291
自己株式	6,379	6,421
株主資本合計	3,761,403	3,907,880
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	321,238	406,600
為替換算調整勘定	2,188	2,375
その他の包括利益累計額合計	323,427	408,976
少数株主持分	534,103	551,990
純資産合計	4,618,934	4,868,846
負債純資産合計	27,455,216	30,411,198

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	36,462,121	36,016,180
売上原価	30,764,676	30,893,862
売上総利益	5,697,444	5,122,318
販売費及び一般管理費	5,019,949	4,918,975
営業利益	677,495	203,343
営業外収益		
受取配当金	49,915	51,306
設備賃貸料	52,183	61,290
その他	148,444	102,504
営業外収益合計	250,543	215,100
営業外費用		
支払利息	233,695	238,692
その他	50,098	32,604
営業外費用合計	283,794	271,296
経常利益	644,245	147,147
特別利益		
受取賠償金	70,179	87,775
その他	-	72
特別利益合計	70,179	87,848
特別損失		
固定資産売却損	25,272	-
固定資産廃棄損	8,467	4,719
減損損失	6,034	2,982
特別損失合計	39,774	7,701
税金等調整前四半期純利益	674,650	227,294
法人税、住民税及び事業税	59,378	62,800
法人税等調整額	4,344	3,920
法人税等合計	63,723	58,880
少数株主損益調整前四半期純利益	610,927	168,414
少数株主利益	25,842	21,896
四半期純利益	585,084	146,518

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	610,927	168,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,501	90,259
持分法適用会社に対する持分相当額	1,240	206
その他の包括利益合計	14,260	90,466
四半期包括利益	596,667	258,880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	565,462	232,067
少数株主に係る四半期包括利益	31,204	26,813

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
赤鷄農業協同組合	147,632千円	赤鷄農業協同組合	129,164千円
小豆屋水産株式会社	100,000	小豆屋水産株式会社	100,000
志布志飼料株式会社	467		
計	248,099	計	229,164

- 2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	89,939千円	134,632千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	550,168千円	606,545千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社の平成24年6月25日開催の定時株主総会において、「資本金および準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の件」が承認可決され、平成24年8月3日にその効力が発生しました。これにより、資本金が1,039,979千円、資本剰余金が791,319千円それぞれ減少し、利益剰余金が1,831,299千円増加しました。

なお、株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,451,961	13,885,148	17,670,422	35,007,533	1,454,587	36,462,121
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,867	98,798	1,040,797	1,146,463	299,505	1,445,968
計	3,458,829	13,983,947	18,711,219	36,153,996	1,754,092	37,908,089
セグメント利益	99,453	343,120	918,988	1,361,562	132,654	1,494,216

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,361,562
「その他」の区分の利益	132,654
セグメント間取引消去	29,852
全社費用(注)	846,573
四半期連結損益計算書の営業利益	677,495

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	水産食品事業	畜産食品事業	飼料事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,727,136	14,659,702	17,106,758	34,493,597	1,522,582	36,016,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,880	94,160	1,247,640	1,349,681	302,111	1,651,793
計	2,735,016	14,753,863	18,354,399	35,843,279	1,824,694	37,667,973
セグメント利益又は損失 ( )	70,908	86,353	859,955	875,400	139,005	1,014,406

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、情報処理事業及び冷蔵倉庫事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	875,400
「その他」の区分の利益	139,005
セグメント間取引消去	28,031
全社費用(注)	839,094
四半期連結損益計算書の営業利益	203,343

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	6円57銭	1円65銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	585,084	146,518
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	585,084	146,518
普通株式の期中平均株式数(千株)	89,039	89,038

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

林兼産業株式会社  
取締役会 御中

監査法人 大手門会計事務所

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 植木 暢 茂 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 武川 博 一 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 佐藤 裕 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている林兼産業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、林兼産業株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。